

沖縄県平和祈念資料館だより

第16回 特別企画展の開催報告

戦後70年伝え残す記憶「ウチナンチュが見た戦前・戦時下の台湾・フィリピン」をテーマに、第16回特別企画展を沖縄県平和祈念資料館及び八重山平和祈念館で開催しました。

今回の特別企画展では、戦前、経済的状况などから新天地、台湾やフィリピンへ夢と希望を持って渡り、たくましく生活基盤を作ってきたウチナンチュ（沖縄県出身者）にスポットを当てました。

1940年当時の台湾では、約14,000人のウチナンチュが住んでおり、そこでは警察官や教員、会社員、漁民、女中や商店販売員として差別や偏見の中で苦勞しながらも心豊かな生活を築き上げていました。

同じくフィリピン（ダバオ）においてもアバカ（麻）の栽培で多くのウチナンチュが苦勞しながらも山野を切り開き豊かな暮らしを送っていました。

しかし、70年前、両地のウチナンチュは砲弾や飢え、不安の中、戦火を逃げ惑い大きな犠牲を強いられました。また終戦後の引き揚げの際には琉球難民と呼ばれるような過酷な体験をしてきました。

今回の特別企画展では彼らの戦前・戦中・戦後の境遇や戦後の両地との交流など実物資料や写真パネルの掲示、映像資料を通して、多角的な視点で平和を見つめる展示としました。

台湾・フィリピンとも沖縄との地理的距離は近いにも関わらず両地に住んでいたウチナンチュのことは広く知られていませんでした。今回、彼等の体験を取り上げ、今を生きる私たちに伝えることで、戦争の愚かさや平和の尊さについて考え、平和を希求する「沖縄の心」を発信する機会としました。

1. 名称：第16回特別企画展 「戦前・戦時下の台湾・フィリピン」
2. 開催期間：平成27年10月 9日（金）～12月10日（木） 沖縄県平和祈念資料館
：平成28年 1月 16日（土）～ 2月25日（木） 八重山平和祈念館

3. 展示内容

第Ⅰ部：近くて遠い台湾 ～蓬萊の島とともに～

- (1) 南方の拠点
- (2) 海を渡ったウチナンチュ（沖縄県出身者）
- (3) 南門の防波堤
- (4) 台湾とのつながり

第Ⅱ部：砲弾と飢えと不安の中で ～異国のふるさとダバオ～

- (1) 緑豊かな大地（フィリピン）
- (2) 希望の大地
- (3) 希望の大地から壮絶な逃避行へ
- (4) フィリピンと沖縄の絆



沖縄県平和祈念資料館での開催
(10月9日)



開会式テープカット



観覧の様子 観覧者数（18,656人）

八重山平和祈念館での開催
(1月16日)



開会式の様子



観覧の様子 観覧者数（514人）

沖縄戦講座 「東アジアの歴史と展望」

平成27年度特別企画展「ウチナンチュが見た 戦前・戦時下の台湾・フィリピン」(平成27年10/9～12/10)の期間中に関連催事として沖縄戦講座を開催しました。

沖縄戦に関しては、被害者として語られることの多い沖縄県民ですが、又吉氏は「基本的に台湾植民地支配下を生きた琉球沖縄人は、加害者としての立場にあった」

との認識を述べました。また、台湾の現地調査215回を数える豊富な研究実績の具体例を紹介して頂き、東アジアにおける侵略戦争と植民地支配の責任をしっかりと受け止めることが、今後の沖縄人・日本人が国際社会で生き残る道であると強調されていました。

参加者からも活発な質疑を頂きました。

日 時：平成27年11月28日(土) 午後2時～4時30分

場 所：沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

講 師：又吉 盛清 氏(沖縄大学客員教授) 演題：「東アジアの歴史と展望」

受講者：39名



平成27年度 第5回子ども・プロセス企画展 「摩文仁と学徒隊 ー健児之塔建立70周年ー」

今年は、健児之塔が建立されてから70周年になります。健児之塔は、沖縄戦で亡くなった男子学徒のための慰霊塔で、戦後最初に建立された魂魄の塔やひめゆりの塔と同時にできました。しかし、沖縄戦終焉の地である摩文仁での男子学徒隊の状況はよくわかっていません。そこで、多くの少年たちが犠牲となった学徒隊の実態について学ぶ企画展として、「摩文仁と学徒隊 ー健児之塔建立70周年ー」を開催します。

多く子どもたちに関心を持ってもらうために、同世代の学徒隊に焦点をあてて展示を行い、戦争や平和について考える機会にします。

〔期間〕平成28年3月1日(火)～5月15日(日)

〔場所〕1階 子ども・プロセス展示室



「沖縄のこころ 平和発信強化事業」

沖縄県平和祈念資料館では、常設展示資料の多言語化、音声ガイダンス機器のリニューアル、デジタルサイネージシステムの3月稼働を目指し、準備を進めています。また、子ども・プロセス展示室入り口に、児童・生徒向けのバーチャルサプライズシステムを設置します。ご期待下さい！以下、概略を紹介致します。

1. 「タブレット端末による常設展示室展示内容の※多言語化」

※多言語化：日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語の5言語。

2. 「音声ガイダンス機器のリニューアル」

①常設展示室用音声ガイダンス機器50台（39ヵ所分）を新たに導入。

②音声データをフランス語、イタリア語、ドイツ語、アラビア語、マレー語に翻訳（英語、中国語、韓国語、スペイン語は翻訳済み）日本語と合わせて計10言語で対応。

3. 「デジタルサイネージシステムの導入」

①メインエントランス（既存の掲示板は撤去）、正面入口、子ども・プロセス展示室入口の合計3台を設置。

②沖縄県平和祈念資料館施設概要、企画展示、その他関連イベント案内の表示を5ヵ国語（日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語）で行う。

③子ども・プロセス展示室入口右手に、主に児童・生徒対象の「バーチャル・サプライズシステム」機器を設置。



博物館学芸員実習

平和祈念資料館では、県内外の大学の要望に応じて、当館学芸員の指導により学芸員資格取得のための支援を行っています。具体的には資料収集・保存活動、調査研究活動、展示活動、教育普及活動などいわゆる学芸業務全般についての研修を集中的に行います。この実習は、学芸員としての自覚の醸成と基礎的知識や技能を習得する機会を提供するものです。従来活動に加え、実習生それぞれが作成した平和講話の発表会を最終日に実施しました。

[期 間]

平成27年8月11日(火)～8月18日(火)
16日を除く(7日間)

[実習生]

沖縄国際大学4名
長崎国際大学1名

計5名

[内 容]

- ① 資料整理・分類・登録
- ② 展示準備・企画展への参加
- ③ 野外実習(近隣の戦跡、類似館の見学)
- ④ 調査研究
- ⑤ 平和講話資料作成及び実施



実習の様子

インターンシップ受け入れ報告

児童生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの児童生徒を受け入れています。平成27年度は、県立高校6校から13名のインターンシップ生を受け入れました。

インターンシップ生を受け入れる事により、明るく爽やかな雰囲気生まれ、当館の職場活性化にもつながりました。

インターンシップを体験した生徒の皆さんそれぞれが自分の個性を発揮し、将来地域のために活躍できる人材になることを期待しています。

[学校名・人数・期間]

- ① 沖縄県立那覇商業高等学校(4名) 7月7日(火)～9日(木)
- ② 沖縄県立豊見城南高等学校(2名) 11月11日(水)～13日(金)
- ③ 沖縄県立糸満高等学校 (2名) 11月11日(水)～13日(金)
- ④ 沖縄県立小禄高等学校 (2名) 11月17日(火)～19日(木)
- ⑤ 沖縄県立豊見城高等学校 (2名) 11月18日(水)～20日(金)
- ⑥ 沖縄県立向陽高等学校 (1名) 12月16日(水)～18日(金)



展示会の準備をする那覇商業の生徒

[主な体験内容]

- ① 文書整理 ② 展示用パネル作り ③ 設備保守点検
- ④ 受付/ショップ業務 ⑤ 警備業務
- ⑥ ライブラリー業務 ⑦ 平和講話補助 ⑧ 展示会準備



案内パネルの作成を行う豊南、糸満の生徒

平成27年度 沖縄県平和祈念資料館講習会

当館への案内業務に携わっている旅行・観光等の関係機関の方々を対象に、本館の設立理念や目的・役割、施設・設備及び展示内容等について理解・認識を深めてもらい、利用活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に資料館講習会を実施しました。

- <日 時>平成28年2月10日(水) 13:30～16:00
<場 所>沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室
<対 象>タクシー乗務員・バスガイド・
ボランティアガイド・観光関係者等
<講話内容>平和祈念公園及び資料館施設説明・展示内容
沖縄戦の特徴
<参加者>50名
※28年度の資料館講習会の開催は、H29年2月に予定しています。



平成27年度 友の会講話・ガイド活動実績件数 平成27年4月～平成28年2月

平成27年4月～平成28年2月までの活動状況

| 団体 | 実施件数 | 実施人数 | 派遣講師 |
|------|----------|--------|------|
| 高等学校 | 54(県内4) | 11,926 | 54 |
| 中学校 | 58(県内5) | 7,677 | 58 |
| 小学校 | 20(県内17) | 7,569 | 20 |
| その他 | 47 | 2,054 | 53 |
| 合計 | 179 | 29,226 | 185 |

平成27年度 活動内容

- (1) 常設展示室解説委員 配置実績54人
- (2) 平和祈念財団こいのぼり掲揚事業への協力(5月2日)
- (3) 平成27年度 友の会総会 5月6日(水)
- (4) 平和講話意見交流会(友の会と学芸職員)1月13日(水)

寄贈品紹介

(1) 実物資料

12個人・0団体から、12件100点の資料寄贈がありました。

※平成28年1月21日現在

| No | 寄贈日 | 資料名 | 数 | 寄贈者 |
|----|-----------|-------------------|----|-------|
| 1 | H27.4.20 | 東条英機 戦艦ミズーリ号上での写真 | 3 | 比嘉敏勝 |
| 2 | H27.4.24 | サーベル | 1 | 大城長武 |
| 3 | H27.5.30 | 写真アルバム(複製) | 2 | 登川吉雄 |
| 4 | H27.6.4 | 写真(牛島夫人、バックナー夫人) | 4 | 金城宜嗣 |
| 5 | H27.6.17 | 砲弾の破片 | | 新垣伸弘 |
| 6 | H27.6.21 | 各種証書(卒業証書、賞状等) | 11 | 新垣真秀 |
| 7 | H27.6.25 | 沖縄戦関連写真印刷物(初版) | 41 | 城間茂夫 |
| 8 | H27.8.3 | 新聞(原本12枚、複製22枚) | 34 | 町田宗光 |
| 9 | H27.8.10 | 砲弾の莖莖 | 1 | 辺土名朝久 |
| 10 | H27.8.19 | はがき(戦時郵便) | 1 | 金城智子 |
| 11 | H27.9.5 | 絵画(10.10空襲) | 1 | 嘉手苅立美 |
| 12 | H27.11.18 | 軍服(上着) | 1 | 東恩納尚子 |

(2) 図書資料

7名の方から、16点の図書資料寄贈がありました。これらは当館内の情報ライブラリーにて閲覧できます。

※平成28年1月21日現在

| No | 寄贈日 | 資料名 | 数 | 寄贈者 |
|----|----------|--------------------|---|-----------|
| 1 | H27.4.8 | 戦争体験記27号 パラオ・台湾の記 | 1 | 宮城恒彦 |
| 2 | H27.4.16 | 絵本「げっとうの咲くとき」他 | 6 | 今秀子 |
| 3 | H27.4.25 | 紙芝居(複製) | 1 | 大城安信 |
| 4 | H27.6.25 | 糸満市史抜刷書籍「沖縄戦と糸満市域」 | 2 | 新田重清 |
| 5 | H27.7.17 | 自費出版本「吾が青春の軌道」 | 2 | 岩谷千春(神奈川) |
| 6 | H27.8.3 | 自作CD「そらのうた」 | 1 | 千葉幹夫(宮城) |
| 7 | H28.1.14 | 戦争体験俳句集「どこにも仏桑花」 | 3 | 末吉發 |

資料の貸出について

当館では、沖縄戦関係の写真パネル、砲弾の破片、ガスマスク、手榴弾などの実物資料、沖縄戦に関する絵、平和学習キット、戦争体験証言ビデオ等の貸出を県内外の学校、公共機関、平和団体などに行っています。

今年度は、147件、820点の資料を貸し出しました。県内では、小中高校を中心に児童・生徒への平和学習等に活用され、県外からは、東京都や大阪府、愛知県及び長野県等において、平和に関する展示会や学校での平和学習、修学旅行の事前学習に活用していただきました。

これからも資料貸出を通して沖縄戦の実相を伝え、沖縄の「平和の心」を県内外へ伝えていきたいと思っております。



(貸出資料: 砲弾の破片・ガスマスク)



(貸出資料: パネル・ビデオ・学習キット)

※貸出可能な資料の写真や「貸出申請書」等は当館のホームページに掲載しています。詳しくは当館へお電話下さい。

八重山平和祈念館 平成27年度事業実施報告

(1) 夏休み企画展「星の島やえやま～星文化と写真」展

【期間】 平成27年8月1日（土）～8月30日（日）

八重山に伝わる星に関する民話、美しい星空の写真を展示しました。また、昭和16年の石垣島皆既日食観測の写真など貴重な資料も展示しました。

同時に、夏休みの平和学習の場として、自由研究に取り組む児童生徒への支援を行い、体験学習コーナーやアニメ上映会も行いました。

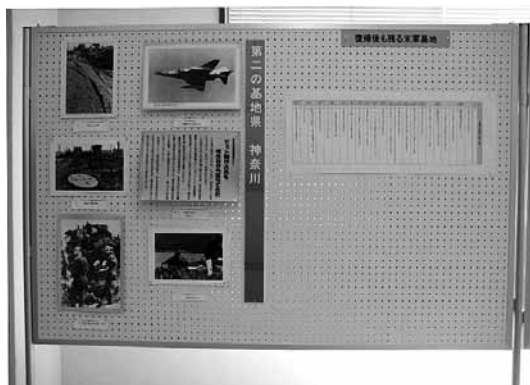


(2) 「米軍と沖縄のあゆみ」展

【期間】 平成27年10月31日（土）～11月25日（水）

沖縄本島と周辺離島の戦後から復帰前後までの歴史、生活、基地が関係する事件、事故について、当時の時代背景がわかる写真などで紹介し、日頃は米軍基地に馴染みの薄い八重山の方々に米軍基地について考えていただく機会としました。

また、沖縄県内だけでなく、県外（神奈川県）で発生した米軍機墜落事故についても紹介しました。



(3) 第16回特別企画展

「ウチナンチュが見た戦前・戦時下の台湾・フィリピン」

【期間】 平成28年1月16日（土）～2月25日（木）

（本館移動展）

戦前、多くのウチナンチュが移り住んでいた台湾、フィリピンに焦点を当て、彼らが直面した過酷な体験等を今を生きる私たちに伝え残すことで、平和を希求する「沖縄のこころ」を発信する機会としました。

特に八重山は、台湾とつながりが深く、八重山の方々に当時の台湾を紹介する良い機会となりました。





OKINAWA PREFECTURAL
PEACE MEMORIAL MUSEUM

平成28年度年間スケジュール 沖縄県平和祈念資料館

Event Schedule

2016.4

2017.3

開館時間

午前9時～午後5時
(常設展示室への入室は午後4時30分まで)

休館日

・館内消毒作業(7月11日～13日)
・年末年始(12月29日～1月3日)

観覧料(常設展示室)

| | 個人 | 団体 (20名以上) |
|----|------|---------------|
| 大人 | 300円 | 240円 |
| 小人 | 150円 | 100円 |

住所 〒901-0333

沖縄県糸満市字摩文仁 614-1

Tel 098-997-3844

Fax 098-997-3947

HP <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp>

Mail webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp

| | | 企画展 | | | | | | | 催し物など |
|-----|----|-----|----|----|----|----|----|---|---|
| 4月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | こども プロセス企画展 「摩文仁と学徒隊」 3/1(火) ～5/15(日) | ◆4日(月)、8日(金) 学校向け平和講話等 利用説明会 |
| | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | | |
| | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | | |
| | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | | |
| 5月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 第1回 こども プロセス企画展 5/26(木) ～7/10(日) | ◆5日(木) 子供の日ビデオ上映会 |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | |
| | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | | |
| | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | | |
| 6月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 児童・生徒の 平和メッセージ展 本館 6/23(木) ～7/7(木) 八重山 7/13(水) ～7/23(土) 名護 8/2(火) ～8/9(火) 県庁 8/22(月) ～8/26(金) 宮古 9/1(木) ～9/9(金) | ◆23日(木)慰霊の日 ・入館料無料 ・沖縄戦関連映画上映 |
| | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | | |
| | 29 | 30 | 31 | | | | | | |
| | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | | |
| 7月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 第2回 こども プロセス企画展 7/23(土) ～8/31(水) | ※7月11日(月)～13日(水) 館内消毒作業のため休館します。 |
| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | | |
| | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | | |
| | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | | | |
| 8月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 特別企画展 10/5(水) ～12/11(日) | ◆夏休み子ども向け企画 ・ビデオ上映会 ・親子平和学習会 ・自由研究相談室 ・夏休み子ども教室 |
| | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | | |
| | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | | |
| | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | | |
| 9月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 第3回 こども プロセス企画展 9/15(木) ～11/20(日) | ◆シンポジウム (沖縄戦講座) |
| | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | | |
| | 27 | 28 | 29 | 30 | | | | | |
| | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | | |
| 10月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 八重山平和祈念館 移動展 特別企画展 1/21(土) ～2/23(木) | ◆資料館講習会 |
| | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | | |
| | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | | |
| | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | | |
| 11月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 第4回 こども プロセス企画展 12/4(日) ～1/31(火) | |
| | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | | |
| | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | | |
| | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | | |
| 12月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 第5回 こども プロセス企画展 3/1(水) ～5/15(月) | |
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | | |
| | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | |
| | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | | |
| 1月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | ハワイ 2/1(水) ～2/14(火) | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | |
| | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | | |
| | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | | |
| 2月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | |
| | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | | |
| | 29 | 30 | 31 | | | | | | |
| | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | | |
| 3月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | |
| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | | |
| | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | | |
| | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | |

※●は休館日

※行事内容・日程は都合により変更になる場合があります。

第26回 児童・生徒の平和メッセージ(図画・作文・詩)作品募集要項

1. 募集対象

沖縄県内の小・中・高等学校、高等専門学校、特別支援学校の児童・生徒

2. 応募方法

<各部門共通>

- 作品はすべて所属の学校を通して応募する。
- 図画・作文・詩ともに未発表作品で、各分野につき一人一点とする。
- 学校名、学年、氏名(フリガナ)、題名を必ず応募ラベルに記入する。

<図画部門>

- 市販の画用紙(四つ切り、38cm×54cm)を使用する。
- 画材、表現方法等は自由であるが、立体作品は避ける。
- 図画には文字のメッセージは入れない。

<作文部門>

- 原稿用紙は400字詰め・B4サイズ・縦書きの市販の用紙を使用する。
- 小学校1、2年生は原稿用紙2枚程度、小学校3、4年生は3枚程度、小学校5、6年生は4枚程度、中学生及び高校生は5枚程度とする。
- 作品は清書して提出する。
- ※ 特別支援学校及び特別支援学級については、小学校1、2年生は2枚程度、その他は3枚程度とする。

<詩部門>

- 原稿用紙は400字詰め・B4サイズ・縦書きの市販の用紙を使用する。
- 枚数は特に指定しない。作品は清書して提出する。

3. 募集期間

平成28年5月1日(日)～5月23日(月)

※〆切 5月23日(月)17:00必着。(当館持ち込み可)

4. 作品の送り先

〒901-0333

糸満市摩文仁614番地の1

沖縄県平和祈念資料館

(電話:098-997-3844・

FAX:098-997-3947)



第25回 児童・生徒の平和メッセージ 〔詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞〕

「おきなわからへいわをとどけたい」

石垣市立登野城小学校 2年

おもしろ
大城 洋輔

空を見上げると 青い空
白いくも
まっ赤なたいよう
そして エメラルドグリーンのうみ
おとうさんがいて おかあさんがいる
おねえちゃんがいて おにいちゃんがいる
ぼくは、まいにち学校へいく
「いってきます」
ぼくは、まいあさ校門でごあいさつをする
「おはようございます」
おかあさんが
「ようすけ これが へいわということなんだよ」
と言った
おとうさんが
「ふつうのことが しあわせなんだよ」
と、言った
ぼくは
「ふつうのことがへいわなんだな」
とおもった
かでのおじいちゃんのいえにいった
あんぽのおかから、かでなきちがみえた
ひこうきのおともきこえた
「わあこわい」
そのとき、『つるちゃん』をおもいだした
かぞくがみんなですんでいった
まわりが一しゅんで火のうみになった
「たすけて、たすけて」
と、いうこえがきこえたような気がした

ぼくのひいおじいちゃんも
せんそうでなくなった
「もっと、生きていたかったよう
みんなにあいたかったよう」
と、いうこえがきこえてきた
よる、ほしをみた
きれいなよぞらで せいざもみえた
「せかいもへいわだといいね」
と、おねえちゃんがいった
「せかいのみんなも見てるかな」
おにいちゃんがいった
「そらは つながっているから
みんなこのほしぞらをみてるよ」
おとうさんも おかあさんもいった
ぼくは おきなわから世界にへいわを
とどけていきたいと思った
ぼくは、心の中でいった
世界のみんながてをつないでほしいな
いつまでもこのふつうのせいかつを
つづけたいな
このへいわが いつまでもつづいてほしい
みんながずっとえがおでいれますように
ぼくが大きくなったとき このだいすきな
おきなわがへいわであるように
しっかりとまもっていきたい
ぼくもがんばります

資料のご提供について

戦後71年が経過した現在、戦争を知らない多くの戦後世代へ、二度とおこしてはならない戦争の教訓を語り継いでいかなければなりません。そのためには、戦前、戦中、戦後の資料等が重要な役割を果たしていくことになります。このような資料をお持ちの方、是非ご寄贈下さいますよう、御協力お願い致します。詳しくは、沖縄県平和祈念資料館までお問い合わせ下さい。

県内学校向け平和講話について

沖縄戦の歴史的教訓を次世代へ正しく伝えることが急務となっています。当館では沖縄戦の理解と平和のために何が出来るかを考えてもらうきっかけとなるよう、県内の小中高校、特別支援学校に対する「平和講話」を実施しております。内容は、沖縄戦に至るまでの歴史的経緯や沖縄戦の特徴、常設展示室の見所などです。総合学習等の一環としてさらなる活用をお願いします。年間を通して実施しておりますが、4月から慰霊の日にかけては込み合いますので早めの御予約をお願いします。

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所 〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1
URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947
E-MAIL webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp



日本平和博物館会誌
ASSOCIATION OF JAPANESE PEACE MUSEUMS